

希少金属資源開発推進基盤整備事業

資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課

令和5年度予算額

3.8 億円 (3.6 億円)

事業の内容

事業目的

5G時代の到来やリモートワークの普及等の影響を受けて市場が急速に拡大しているICTやIoT機器などの先端産業、半導体等の部品生産に必要な希少金属資源について、基礎的な資源探査等を実施し、希少金属資源の開発を促進することで供給源の多様化を図り、希少金属資源の安定供給確保を行うことを目的とします。

事業概要

希少金属資源の安定供給確保を行うため、希少金属資源ポテンシャルが期待される地域において、民間団体等が海外地質調査所等と共同調査実施契約等を締結したうえで資源探査や探査技術の高度化等を実施し、有望な調査結果が得られた場合には、資源開発の権利等を我が国企業に引き継ぎます。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



素材の高付加価値化に不可欠な希少金属資源等



- 液晶画面（インジウム）
- コンデンサ（タンタル、マンガン、バリウム、チタン等）
- ICチップ（ガリウム、シリコン、金、銀、錫、フッ素等）

(スマートフォンの例)

成果目標

初期的な鉱物資源探査や探査技術の高度化により、有望な鉱床の早期発見を目指します。

鉱物資源（ベースメタル）の自給率（金属需要に占める自主開発鉱石とリサイクル原料の割合。平成30年度は50%）を令和12年度までに80%以上に引き上げるとともに、令和32年度までに国内需要量相当を確保することを目指します。